

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2017年7月

主な出来事

- 22日、オレンガコイFONUS党首がCNSA議長に任命される。他方、CENCO、MLC等は同任命に反対。
- 7日、ナンガーCENI委員長が、今年中の選挙実施は不可能と発言。これに対しRassemblement や市民社会が反発し、Rassemblement は8月8～9日のゼネスト、および8月20日以降の全国規模の政治集会を呼びかけ。
- 警察長官およびキンシャサ特別州警察長官が異動。後任はいずれも軍関係者。

1. 内政

(1)カビラ大統領とウテンビ CENCO 議長の会談

・5日、アフリカ連合(AU)第29回首脳サミットのため訪れたアディスアベバから3日にキサンガニに到着したカビラ大統領は、ウテンビ司教(CENCO 議長)とキサンガニで会談した。ウテンビ議長は会談後、カビラ大統領が「選挙は行う」と発言したと述べた。カビラ大統領は同日、マニエマ州キンドウに向かった。

(2)公務員の人事異動

ア 国家警察の大幅人事異動

・17日付大統領令により、ビセンギマナ警察長官が退任となり、後任として元コンゴ(民)国軍副参謀長のディユドネ・アムリ将軍が任命された。また、同じ大統領令により、カニヤマ・キンシャサ特別州警察長官は警察学校・研修局長に異動となり、後任として、現要人保護部隊隊長のシルヴァノ・カソゴ将軍が任命された。

イ 次官級を含む223名の行政幹部の退官

・10日付大統領令により、既に定年を過ぎていた行政幹部223名の退官が決定した。

(3)選挙・政治対話の動向

ア 合意フォローアップ国家評議会(CNSA)開始式の延期

・3日、昨年12月31日の政治合意で設置が決定された「合意フォローアップ国家評議会(CNSA)」の開始式が予定されていたが、同開始式をミナク国民議会議長と共同主催するケンゴ上院議長が不在のため、同日の式典は行われず、CNSA 代表者の顔合わせのみとなった。「ミ」議長は、式典の開催は、「ケ」議長が戻った後に延期すると発表した。

・3日、カメレ UNC 党首は、CNSA の開会式を両院議長が行うのは、12月31日の政治合意の精神に反していると批判する書簡を両院議長宛に送った。

イ 22日、上下両院議長が開催した会合で、オレンガコイFONUS党首がCNSA議長に任命された。

ウ 野党プラットフォーム Rassemblement は21～22日にコンクラブを実施し、7月31日までの選挙人登録結果の公表、および9月30日までの大統領選挙公示を求めるとともに、カビラ大統領への「警告」のため、8月8日～9日のゼネスト実施を呼びかけた。

エ LUCHAによる平和的行進の呼びかけ

市民団体「変化への闘争(LUCHA)」は、31日、今年中の選挙実施を求めるための国内全土での平和的行進を呼びかけた。昨年10月末以降政治活動が全面的に禁止されているキンシャサ市では、警察当局の規制により平和的行進は実施されなかったが、ゴマ、ブカブ等では、当局の取り締まりにも関わらず一部参加者が行進を行った。

(4)独立国家選挙委員会(CENI)の動向

ア CENI が今年中の選挙実施は不可能と発表

・7日、ナンガーCENI 委員長は、訪問先であるパリの仏語圏(フランコフォニー)国際機関(OIF)本部で記者会見を行い、昨年12月31日の政治合意に規定された、今年中の選挙実施は不可能であると述べた。同委員長は、12月31日政治合意の第4章2では、選挙日程に関し、「選挙実施に必要な期間は、CNSA、政府及び CENI の総意により、再評価することができる」とも記載されていると説明した。

・野党 UDPS のカブヤ報道官は AFP に対し、ナンガーCENI 委員長は、ジョセフ・カビラが永遠に権力の座に居座る計画を実現する手助けを行っており、UDPS はこれを断固阻止すると述べた。

イ 州知事・副州知事選挙の実施

・18日、CENI は、7月21日から9月12日にかけて、国内11州の知事・副知事選挙を実施する旨を発表した。なお、州知事選は州議会議員による間接選挙で選出される。今回対象となる州はバズエレ州、赤道州、オー＝カタンガ州、オー＝ロマミ州、中央カサイ州、クウィル州、モンガラ州、南キブ州、南ウバンギ州、チョポ州およびチュアパ州。

(5)外国人報道関係者の地方移動の規制

12日に発出されたコミュニケーション・メディア省の省令で、キンシャサ以外の地方部での取材活動を行う外国人報道関係者は、事前にコンゴ(民)当局からの許可を得ることが義務づけられた。

2. 外交

(1)カビラ大統領がアディスアベバを訪問

・2日、カビラ大統領はアフリカ連合(AU)の第29回首脳サミット(年2回開催の国家元首レベル)出席のため、アディスアベバに到着、3日の総会に出席した後、同日夕方にはキサンガニに戻った。

・3日、トゥアデラ中央アフリカ大統領とバイ会談を行った。

(2)シェ・オキトゥンドゥ副首相兼外務・地域統合大臣の外国訪問

・4日、AU の第29回首脳サミットに出席するために訪問していたアディスアベバからブリュッセルに向かった。EU のモゲリーニ外務・安全保障政策上級代表との、制裁に関する協議が目的。

(3)アミナ・モハメド副事務総長のコンゴ(民)来訪

24日～27日、アミナ・モハメド国連副事務総長はコンゴ(民)を訪れ、カビラ大統領およびシェ・オキトゥンドゥ外相と会談を行った。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1)南キブ州の治安悪化

・5日、南キブ州コンゴ(民)国軍(FARDC)のカセレカ報道官は、マイマイ・ヤクトウンバと FARDC の交戦で、12名が死亡したと発表した。FARDC 側2名、マイマイ側9名に加え、市民1名が流れ弾で死亡した。

・5日、カシガ・タンザニア外務省報道官は、同国で登録されたトラックの運転手24名が、6月29日、南キブ州ルリンバ(Lulimba)でマイマイによって誘拐されたと発表した。24名の運転手のうち21名がタンザニア国籍で、3名はケニア国籍。これらのトラックは、マニエマ州のナモヤ金鉱山(Namoya)に向かっていた。マイマイは運転手らの金品を巻き上げ、トラックの一部を破壊した。

(2) MONUSCO が東部の基地を閉鎖

・19日、MONUSCOは、31日をもってコンゴ(民)東部の北キブ州ワリカレ地区、マシシ地区及びルベロ地区に所在する5つの基地の閉鎖を決定した旨を発表した。同決定は、国連PKO局によって採択された戦略にも沿うもの。

4. その他地域情勢

(1) 民間人殺害の罪で FARDC 兵士に重罪判決

・6日、東カサイ州ムブジマイ(Mbuji-Mayi)の軍事法廷は、コンゴ(民)国軍(FARDC)兵士が中央カサイ州 Mwanza Lomba で昨年、民間人とされる人々を虐殺する様子をビデオ撮影した件に関し、殺人の罪で2名に20年、3名に15年の懲役、1名に兵士の犯罪を告発しなかった罪で12か月の懲役判決を言い渡した。ビデオの撮影者とされる兵士1名は無罪となった。また、逃亡している2名には、不在のまま、終身刑が言い渡された。

5. その他

(1) シディク SRSRG が CENI に選挙日程の即時発表を求める

・1日、MONUSCO は、シディク SRSRG が独立国家選挙委員会(CENI)に対し、時を移さず選挙日程を発表するよう求める内容のコミュニケを出した。

(2) 政府がドナーへの財政支援を要請

・6日、Reuters は、コンゴ(民)政府がドナーに対し、財政支援を正式に要請した文書を入手したと報道した。同文書の要点は、「現在の(財政)状況に鑑み、世界市場における原料価格の暴落によって引き起こされた経済危機的困難に対処すべく、コンゴ(民)政府は、国際収支と予算におけるパートナー諸国からの支援を求める」というもの。

(3) 撤退中のベルギー軍が足止め

・8日、ベルギーの民間メディア(RTL)は、11名の兵士と1名の看護師から構成されるベルギー軍の1部隊が、マニエマ州キンドゥで足止めされており、これは、コンゴ(民)当局が、同部隊の管理している資機材を保持し続けたいという意思によるものと報じた。コンゴ(民)当局はこれを明確に否定した。

(4) キンシャサ市で発生したインド人誘拐事件が解決

・10日、コンゴ(民)国家警察のムワナムプトゥ報道官は、6月20日にキンシャサ市内で誘拐されたインド人のヘルマニ・リテシュ氏(Hermnani RITESH, 旅行会社 Miles Travel 経営)が、8日に無事解放されたと発表した。犯人グループは、ナミビア人、モザンビーク人、カメルーン人、コンゴ人の4名で構成され、リテシュ氏の解放に対する身代金として200万ドルを要求していた。同報道官によると、コンゴ(民)東部では誘拐は頻発しているものの、キンシャサで、このような身代金を要求する誘拐が発生したのは初めてのこと。犯人グループのうち3名は逮捕され、1名は逃亡中。身代金は支払われていない。

(了)